

2023 年度

授業概要

科目名	福祉住環境論演習			授業の種類	講義	講師名	
授業回数	15 回	時間数	30 時間 1 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	2年 前期
【授業の目的・ねらい】 福祉用具の活用法と住宅改修のポイントを学ぶ。							
【実務者経験】 ・総合病院にて7年の勤務経験。自宅訪問にて生活動作や家屋評価などを実施してきた。その後4年間は介護老人保健施設に勤務し、通所サービス利用者の福祉用具選定やフォローアップにも関わった。 ・身体障害分野の病院に勤務し、多種の疾患に対応する。その後、現在の会社Withで福祉用具や住宅改修の相談や援助を実施している。また、介護介助教室などで他職種の指導なども行っている。							
【授業全体の内容の概要】 各動作における福祉用具の良い点と注意点を学ぶ。また、住宅改修についても各動作や場所ごとに改修ポイントを学ぶ。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 作業療法士にとって必要な福祉用具と住宅改修のポイントについて理解する。また、福祉住環境コーディネーター2級修得をめざす。							
回数	講義内容					準備物(教材)	
1	オリエンテーション（2級習得に関する説明含む） 福祉住環境概論、福祉用具総論					資料・PC プロジェクター	
2	福祉用具各論（起居・就寝）					資料・PC プロジェクター	
3	福祉用具各論（移動）					資料・PC プロジェクター	
4	福祉用具各論（移動）					資料・PC プロジェクター	
5	福祉用具各論（排泄）					資料・PC プロジェクター	
6	福祉用具各論（入浴）					資料・PC プロジェクター	
7	福祉用具各論（自助具）					資料・PC プロジェクター	
8	福祉住環境整備の共通基本技術					資料・PC プロジェクター	
9	福祉住環境整備の共通基本技術					資料・PC プロジェクター	
10	生活行為別福祉住環境整備の手法					資料・PC プロジェクター	
11	生活行為別福祉住環境整備の手法					資料・PC プロジェクター	
12	福祉用具実践演習1（淵上）					資料・PC プロジェクター	
13	福祉用具実践演習2（淵上）					資料・PC プロジェクター	
14	福祉用具実践演習3（淵上）					資料・PC プロジェクター	
15	福祉用具実践演習4（淵上）					資料・PC プロジェクター	
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 東京商工会議所公式福祉住環境コーディネーター2級テキスト							
【準備学習・時間外学習】 福祉住環境コーディネーター2級取得のためには15回の講義内容以外にも学ぶべきところがあるため、その部分についても学習しておくこと。また、必要があれば参考資料や過去問題も配布する。							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期筆記試験を100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							